

授業科目 NO. 711 公衆衛生看護学実習

Public Health Nursing Practicum

授業の形態： 実習
単位数（時間数）： 5単位（225時間）
開講年次・学期： 4年次・前後期
必修・選択の別： 選択・保健師選択コース必修
キーワード： 地域看護診断、公衆衛生看護活動展開、健康教育、家庭訪問

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標（GIO）

行政、産業の場面において公衆衛生看護活動を展開し、個人/家族、地区/小地域に対する看護過程を展開する基礎的能力を獲得することを目標とする。さらに公衆衛生看護活動が展開される主要な場の特性や特徴的な公衆衛生看護活動について学び、それぞれの場の一員として様々な組織・職種とともにチームとして活動できる基礎的能力の獲得を目標とする。これらを通じて、公衆衛生看護活動の理念や活動展開に必要な知識や技術を統合するとともに、専門職としての自らの課題を明確にする。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 個人/家族、地区/小地域に対する公衆衛生看護過程を展開することができる。(①②③)
- (2) 公衆衛生看護活動の展開方法として地域診断を行い、地域の健康課題を抽出することができる。(②③)
- (3) 公衆衛生看護活動の展開方法として、地域特性をふまえ、地域で生活する対象集団の健康課題に応じた健康教育の立案、実施、評価の一連の過程を実施することができる。
(②③)
- (4) 公衆衛生看護活動が展開される主要な場の特性や特徴的な公衆衛生看護活動について説明できる。(①②③)
- (5) 公衆衛生看護活動が展開される場の一員として様々な組織・職種とともにチームとして活動できる基礎的能力について説明できる。(②③)
- (6) 公衆衛生看護を実践する専門職として自らの課題を述べるすることができる。(①④)

3 学修内容

実習の内容については、実習要項に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	80%
レポート	20%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項) 実習成績の中には実習態度も含まれる

5 教育担当者

科目責任者：塚本 陽子

准 教 授 寺西 敬子 (公衆衛生看護学)
 講 師 塚本 陽子 (公衆衛生看護学)
 講 師 杉山 希美 (公衆衛生看護学)
 助 教 澤 美咲 (公衆衛生看護学)

6 教科書

- 1) 標美奈子他：標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論、医学書院 (最新版)
- 2) 中村裕美子他：標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術、医学書院
- 3) 松田正巳他：標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院
- 4) 荒賀直子他 (編集)：公衆衛生看護学.jp 第 5 版 インターメディカル

7 推薦参考書

- 1) 厚生労働統計協会 (編集)：国民衛生の動向、厚生労働統計協会 (最新版)
- 2) 厚生労働統計協会 (編集)：国民の福祉と介護の動向、厚生労働統計協会 (最新版)
- 3) 佐伯和子他：地域看護アセスメントガイド第 2 版、医歯薬出版株式会社
- 4) 新版 保健師業務要覧 第 4 版 日本看護協会出版会

8 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 担当教員の指示に従って事前学修をしておくこと。
- 2) 公衆衛生看護学方法論 I・II・III・IV・V の教科書、資料を復習してきてください。

9 課題 (試験やレポート等) に関するフィードバック

提出されたレポートについてコメントする。

実習に関しては、評価表を基に到達度や課題をフィードバックする。

10 履修上の注意事項

- 1) 実習目標達成のためにグループで協力して意欲的に活動する。
- 2) 実習中は、看護学生としての自覚と責任のある態度で積極的に実習する。
- 3) 市町実習施設管内の地域看護診断を行った上で実習に臨む。

11 オフィスアワー等

質問は E-mail で受け付けます。来室は、随時としますが事前にメール等で都合を確認ください。

寺西 : k-tera@kanazawa-med.ac.jp

塚本 : y-tsuka@kanazawa-med.ac.jp

杉山 : kisugi@kanazawa-med.ac.jp

澤 : 講義開始時に案内します